

国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

Rotary



週報

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2586回 例会プログラム

- 例会場 / 東山荘講堂
- 開会点鐘 / 12:30 ● ロータリーソング / 我等の生業
- 内容 / 御殿場警察について
御殿場警察署長 河合竜司様

会員慶事

- 会員誕生日 / 11月20日 勝又博文君
- 結婚記念日 / 11月16日 勝又 厚君 秀子様 ご夫妻
11月17日 山崎伊久雄君 久子様 ご夫妻
11月18日 小早川豊一君 かず代様 ご夫妻
11月18日 山口幸男君 勝子様 ご夫妻
11月19日 井上 元君 浩子様 ご夫妻
- 皆出席 / 11月8日 池谷正徳君(ロータリー歴6年)

会長挨拶

勝又博文



全国政令指定都市の幸福度ランキング、浜松が1位。たまたま、地区大会の鈴木康友浜松市長の祝辞に驚きと憧れをもって調べてみました。このランキングは2年ごとにおこなわれ、都市の基本指標に加え、5分野47指標で評価され、総合点で順位が決まります。

浜松市の人口は約82万人。平成17年の合併後、市の総面積はそれまでの約6倍の1558平方キロメートルになり、岐阜県の高山市に次いで全国で2番目の広さになりました。

市内にある浜名湖は、以前は遠州灘とは隔離された淡水湖でしたが、西暦1498年の大地震により南側の陸地が消滅し、浜名湖を経由した水上ルートが確立され、遠州灘との直接的な水路が登場し、浜名湖周辺の土地は海運商人の本拠地となりました。

戦後、未開だった三方原台地を開墾し、じゃがいもや麦などをはじめ、落花生や大根の栽培、畜産、「三ヶ日みかん」などの園芸栽培などが行われ、1967年には三方原用水

路が通水し、この地は先進農業地帯に生まれ変わりました。浜名湖や遠州灘を中心とした漁業、湖内での養殖が古くから行われ、明治中頃(1890年代)に始まった鰻やスッポンの養殖は全国的にも知られています。

日本三大美林に数えられる天竜の森は、江戸時代中頃(1700年代)から本格的な植林が始まりました。明治時代中期(1890年代)には水害対策として、金原明善翁による植林事業が行われ、建築材や家具材や楽器の材料として利用されています。

浜松市を象徴する言葉として「やらまいか」という方言があります。これは「やってみよう」「やってやろうじゃないか」を意味し、新しいことに果敢にチャレンジする精神を表します。そして「ヤマハ」「スズキ」をはじめ、世界を代表する企業を輩出してきました。

この気質が、アイデアの上にさらにアイデアを載せて広がり、創造の芽が育ちやすい土地柄となり、多くの世界企業をうみ出す源泉になっているのではないかと思います。

御厨に住んでいる私たちも、学ばなくてはならないところが沢山あります。私たちが英知を結集して、浜松の様に住みやすく活力のある街づくりを目指して、頑張っていきたいと思います。



会長挨拶用QRコード

11/7の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
55名	51名	46名	90.2%	100%

欠席者(5名) 秋田悦夫君・林 準君・鎌野篤志君
勝又 誠君・根上眞一君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。



ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

次回
11月21日の
例会

★東山荘講堂
★12:30点鐘
★ビジョン策定について
ビジョン策定委員長 根上眞一君



地区大会に参加して

会長 勝又博文君

先日の3日・4日に、第2620地区地区大会が浜松で開催されました。また、我が御殿場クラブは、『複数年出席率100%出席Rクラブ』として表彰を受けました。大会では、新しい試みで、YouTubeを使ってライブ配信しており、例年あった「記念講演」ではなく、米山学友他の活動報告がなされ、斬新な地区大会であったと感じました。

大会は、安間ガバナーの点鐘で始まり、今回のテーマの『クラブが主役の地区大会』を通じた挨拶をされました。続いてR I会長代理の大塚信郎様より、「本年度R Iテーマ『ロータリーは世界をつなぐ』を皆様と一緒に語り合うことを楽しみにしています。」と述べられました。

その後、各報告、各種表彰を経た後、ガバナーエレクトの荻原英生様、ガバナーノミニーの小林聡一郎様の紹介がありました。続いて「ロータリーの今後を語る 私の Rotary Moment」と題して、星野PDG・安間DG・荻原DGE・小林DGNの4名が登壇し、それぞれ熱い思いをお話してくださいました。

二日間にわたる地区大会で、会長として貴重な体験をさせていただきました。そして、この経験をこれからの自分の人生に生かしていきたいと思いました。



勝又 淳君

休憩を挟み、12時15分より地区大会決議事項の報告が安間ガバナーより行われた。その後、静岡RCの荻原英生ガバナーエレクト

と甲府北RCの小林聡一郎ガバナーノミニーの紹介が行われ、荻原ガバナーエレクトより挨拶があった。「ロータリーって本当にすばらしいですね」という出だしから話が始まり、2分ほどで挨拶は終了。

その後、次回地区大会は令和2年11月22日(日)ツインメッセにて行われることがホストクラブ代表より発表があった。

閉会点鐘の前に大塚R I会長代理より講評があった。

安間ガバナーおよびホストクラブへの感謝とねぎらいの言葉があり、R Iへは「満点」での報告がされることが伝えられた。

参加しなくてはわからないことが多く、内容はともかくやはり現場に行き、現実を見ることの大切さを改めて感じた。現場に行くことで予期せぬ出会いや発見がありました。



久保田 勇輝君

総勢3,000人を超えるロータリーアンが一堂に集まり、盛大に開催されました。

はじめに、浜松の佐藤典子様による、舞踊が披露されました。そして、ゲストビジターや地区役員の紹介、R I会長代理、参加ロータリークラブ会長全員が登壇し、その後、安間ガバナーによる挨拶、そして鈴木浜松市長へ続きました。

R I会長代理である大塚様からは、地区大会は世界をつなぐための大前提であり、ロータリーが世界で唯一無二の存在であると再認識する場と話されました。持続可能な変化をもたらすためにもビジョン声明があり、全会員の積極的な関わり、つながりにより、様々なスキル、多様な人にとって魅力的なロータリーであることが重要であることが宣言されました。その後、米山学友として、中国からの留学生の報告がありました。この活動によって、日本との結びつきをもとに世界で活躍する若者が増えることは大変意義深いと考えます。



地区大会参加報告

11月3日、4日アクトシティ浜松にて「クラブが主役の地区大会」をテーマに第2620地区2019-2020年度地区大会が開催されました。

御殿場クラブは複数年出席率100%で表彰されました。青少年交換学生や米山学友ホームカミングのスピーチなどもあり、短い時間で中身の濃い大会となりました。御殿場クラブからは14名の参加がありました。

10/24のメーキャップ

10月23日	大阪 E クラブ	堀口廣司君
10月27日	オープンハウス	芹澤隆博君
10月27日	大阪 E クラブ	山内強嗣君

11/7のスマイル

地区大会ありがとうございました。
勝又会長、斎藤幹事